

事業所名はあとの杜しぎさんGH

作成日：平成 27 年 1 月 13 日

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	27	①介護記録(カルテ)への記録の充実化を図る。	記録の充実化と全職員の閲覧によって利用者様の些細な変化や伝えられない思いを気付く事が出来る。	単に利用者様の行動・言動の記録に留まらず、その行動・言動にいたった経緯についての介護計画のサービス内容に則した記録も行いケアカンファレンスに活用する。	12ヶ月
2	13	②人材育成または新人育成の指導計画にもとずき実施できていない	基本理念 基本方針を十分に理解し、利用者様や家族から信頼される介護職員を育てる。	新人職員は3ヶ月試用期間中 新人教育マニュアルを使用し、フロアリーダーの指導しながら、確認する。随時所長とフロアリーダーと面談をしながら疑問点がないか質問がないかを話し合う。誕生日の方 その月の利用者の希望要望を聞きだし、日常的に実施できる人員体制を確保を計画的に実施する。	6ヶ月
3	49	③個別支援 計画的に少しずつ実施するも定期的に行えていないのが現状である。	利用者様のニーズに合った個別支援を適時行える体制を作る。	毎週日曜日は定期的なレクレーションも継続	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。